

【5. SWALLOWING/NUTRITION】

嚥下機能維持と栄養管理

①ST介入による評価(初回・定期)

嚥下機能の低下は思ったより早い時期から。最終的に命を脅かす機能低下に対し早めの時期から対応を開始し、必要度に応じて定期的に介入致します。

②咳嗽機能/嚥下機能に特化したリハビリテーション

言語聴覚士が必要に応じて継続的な評価を実施し、嚥下機能低下防止に特化したリハビリテーションを行います。

呼吸トレーニング

胸郭可動性訓練

呼気負荷トレーニング

アクティブサイクル呼吸法

ブローイング訓練

舌抵抗運動

前舌保持嚥下訓練

頭部挙上訓練

咳嗽訓練

③スクリーニング・テスト→DSSを活用した食事形態への介入

スクリーニングテストによって得られた結果からDSS【摂食嚥下臨床的重症度分類】に準じて適切な食事形態をご提案致します。